

令和6年度 7月号

めいか

令和6年6月29日

文京区立明化幼稚園

ピンチはチャンス

副園長 山下 美幸

子どもたちが楽しみにしていたプール遊びが始まりました。昨年の9月から新園舎へ引っ越したため、新園舎でのプール遊びは今年が初めてとなります。そのため、小さな園庭でのプールの設置場所や安全面を配慮した動線など、プール遊びを始めるにあたり、担任間で話し合い、知恵を出し合って当日を迎えました。思い返せば1学期は、行事の度に教員たちみんなで知恵を出し合ったことが多く印象に残っています。「こいのぼり」はどこに飾るか、雨天予報で延期しましたが、一日動物村の実施場所をどうするかなど、これまで旧園舎では考えもしなかったことに試行錯誤する。様々なピンチのお陰で教員間のチームワークもぐっと良くなったと感じています。

幼稚園のテラスの目の前に小学生の栽培しているアサガオの鉢が並んでいます。プール遊びをしていた年少組が「大きくなった!」「花が咲いている!」と気付く姿が見られています。また、年長児や年中児も水やりや観察に来た小学生と挨拶したり、手を振り合ったりする姿も見られ、以前よりも、幼児と小学生との距離が近くなったことを実感します。

先日の幼稚園学校運営連絡協議会でも、年長児と小学校との交流活動が話題になりました。小学校校舎が隣接しているため、幼児の目に自然と小学生の姿を目にする機会が多くなり、憧れの気持ちや小学校への期待感につながっていること、幼稚園と小学校の教員同士が出会うと話をする機会が自然ともっていることなど、この立地ならではの恩恵が多いことが話題に上がりました。ピンチというと、マイナスな印象を受けがちですが、ピンチのお陰で、教師も幼児もチャンスの恩恵を受けることができるありがたさを感じています。

もうすぐ7月です。夏本番の暑さを迎え、暑さ指数(WBGT)によってプール遊びも制限される日も出てくることでしょう。そんな時もチャンスと捉え、遊びや生活の充実につながる教育活動を続けていきたいと思えます。

学期の終わりにあたり、子どもたちの生活を支えてくださった保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。



1階テラスの様子

～手前が年少組プール、右側が小学校のアサガオ、
奥が年長組・年中組プール～